

平成24年下期

宇治・城陽・久御山区域内

経営経済動向調査報告書

宇治・城陽・久御山区域商工会議所・商工会広域連携協議会

宇城久地域ビジネスサポートセンター

(宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会)

宇治・城陽・久御山区域商工会議所・商工会広域連携協議会では、年2回（1月、7月）宇治・城陽・久御山区域内に有する製造、商業（卸・小売）、運輸・通信、建設、サービスの各業種を対象に景気動向を把握し、各企業における経営指針の資料としていただくため、経営経済動向調査を実施していきます。

今回、平成24年下期の調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査の要項は、次のとおりです。

- ◆調査の時期 平成24年7月
- ◆調査の対象期間 平成23年7月～12月 実績
平成24年1月～6月 実績
平成24年7月～12月 予測
- ◆調査の内容 業界景気、操業度、生産・売上高、販売価格、営業利益、資金繰り、借入れ、設備投資、経営上の問題点について
- ◆調査の対象 宇治・城陽・久御山区域内に事業所（本店、支店、営業所等）を有する企業1000社
- ◆調査の方法 郵送によるアンケート方式
- ◆回収状況 有効回答企業415社（41.5%）

〔規模別内訳〕

- A規模企業 従業員20人以上の企業
- B規模企業 従業員19人以下の企業

〔有効回答企業の業種・規模別内訳〕

業 種	企業数
全 業 種	415
製 造 業	209
食 料 品 製 造 業	34
繊 維 製 品 製 造 業	15
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	4
製 紙 ・ 印 刷 業	7
化 学 製 品 製 造 業	29
金 属 製 品 製 造 業	40
機 械 器 具 製 造 業	72
金 銀 糸 加 工 業	8
非製造業	206
商 業 (卸 ・ 小 売 業)	88
運 輸 ・ 通 信 業	11
建 設 業	60
サ ー ビ ス 業	47

規 模	企業数
全 業 種	415
製 造 業	209
50人以上	46
30人～49人	17
20人～29人	21
10人～19人	39
9人以下	86
非製造業	206
50人以上	25
30人～49人	15
20人～29人	10
10人～19人	33
9人以下	123

〔B・S・I値について〕

B・S・I（ビジネス サーベイ インデックス）とは、企業経営者の景気全般の見通しについて、強気、弱気の度合いを示す。

プラスならば「強気」「楽観」を、マイナス（▲）ならば「弱気」「悲観」を意味する。算定方式は、次のとおりです。

<p>上昇（増加）と回答した企業割合・・・X（%）</p> <p>横バイと回答した企業割合・・・Y（%）</p> <p>下降（減少）と回答した企業割合・・・Z（%）</p>	$X + Y + Z = 100（\%）$
$B \cdot S \cdot I = \frac{X - Z}{2}$	

1. 業界の景気

業界の景気	実 績						予 測		
	平成 23 年 7 月～1 2 月			平成 24 年 1 月～6 月			平成 24 年 7 月～1 2 月		
項 目	上	下	B	上	下	B	上	下	B
業 種	昇	降	S	昇	降	S	昇	降	S
	I		I	I		I	I		I
全 業 種	13.4	47.6	▲17.1	14.4	51.5	▲18.5	11.9	49.5	▲18.8
製 造 業	16.9	47.3	▲15.2	18.4	47.3	▲14.5	15.5	43.7	▲14.1
商 業	8.0	46.0	▲19.0	10.3	56.3	▲23.0	5.7	56.3	▲25.3
運輸・通信業	18.2	54.5	▲18.2	9.1	63.6	▲27.3	11.1	44.4	▲16.7
建 設 業	13.8	44.8	▲15.5	10.3	53.4	▲21.6	17.5	56.1	▲19.3
サービス業	6.4	53.2	▲23.4	10.6	55.3	▲22.3	0.0	55.6	▲27.8
A 規模企業	19.1	36.6	▲8.8	20.6	36.6	▲8.0	17.6	32.8	▲7.6
B 規模企業	10.8	52.7	▲21.0	11.5	58.4	▲23.5	9.2	57.5	▲24.2

この調査は、各企業に関する業界の景況感を調査したもので、平成23年下期実績では「上昇」とした企業が13.4%、「下降」と回答した企業が47.6%、BSI値▲17.1となっており、平成24年上期では「上昇」と回答した企業が14.4%、「下降」とした企業が51.5%でBSI値▲18.5となっており、依然下降を示し厳しい景況感となった。今後の平成24年下期予測については、BSI値▲18.8となり、上昇を予測する企業の割合は少なく厳しい見方をしている企業が多い。

業種別にみると、平成24年上期において、全業種でBSI値がマイナスで、平成24年下期予測でも、全業種で低迷が予測され、まだまだ先行きに不安を感じている結果となっている。

規模別にみると、A規模企業（従業員数20人以上）とB規模企業（従業員数19人以下）を比較すると、各期を通して規模の格差は現れており、平成23年下期から平成24年上期は格差が拡がり、今後の予測では、更に格差は拡がると予測されている。

2. 自社の操業度

この調査は、各企業における操業度合を各期の直前期と比較したもので、平成23年下期、平成24年上期の全業種平均をみるとBSI値▲7.2、▲10.8となりマイナス幅は広がっている。今後の平成24年上期にかけては、「上昇」とする企業は減少し、更にマイナス幅は拡がりBSI値は▲12.3となり、依然下降基調で推移すると予測されている。

業種別では、平成24年上期において、全業種でBSI値がマイナスで、平成24年下期予測でも、全業種で低迷が予想され、操業度についてもまだまだ先行きに不安を感じている結果となっている。

規模別では、各期実績を通して規模の格差は現れており、平成24年下期予測でも同傾向で推移していくと予測している。

自社の 操業度	実 績						予 測		
	平成 23 年 7 月～1 2 月			平成 24 年 1 月～6 月			平成 24 年 7 月～1 2 月		
項 目	上	下	B	上	下	B	上	下	B
業 種	昇	降	S I	昇	降	S I	昇	降	S I
全 業 種	22.4	36.9	▲7.2	20.3	41.9	▲10.8	16.4	41.0	▲12.3
製 造 業	26.6	37.2	▲5.3	26.6	38.2	▲5.8	21.7	38.6	▲8.5
商 業	12.9	36.5	▲11.8	11.8	45.9	▲17.1	7.1	45.9	▲19.4
運輸・通信業	27.3	36.4	▲4.5	9.1	54.5	▲22.7	22.2	33.3	▲5.6
建 設 業	29.3	31.0	▲0.9	16.9	49.2	▲16.1	19.3	42.1	▲11.4
サービス業	10.9	43.5	▲16.3	15.2	39.1	▲12.0	4.5	43.2	▲19.3
A規模企業	29.1	27.6	0.7	24.6	35.8	▲5.6	22.6	32.3	▲4.9
B規模企業	19.0	41.4	▲11.2	18.2	44.9	▲13.3	13.4	45.4	▲16.0

3. 企業経営動向

(1) 生産又は売上高

生産又は 売上高	実 績						予 測		
	平成 23 年 7 月～1 2 月			平成 24 年 1 月～6 月			平成 24 年 7 月～1 2 月		
項 目	増	減	B	増	減	B	増	減	B
業 種	加	少	S I	加	少	S I	加	少	S I
全 業 種	21.0	35.8	▲7.4	21.3	39.8	▲9.3	14.2	37.0	▲11.4
製 造 業	22.9	33.2	▲5.1	23.3	37.9	▲7.3	19.2	33.0	▲6.9
商 業	18.1	34.9	▲8.4	20.5	41.0	▲10.2	8.6	42.0	▲16.7
運輸・通信業	33.3	55.6	▲11.1	22.2	55.6	▲16.7	11.1	44.4	▲16.7
建 設 業	21.6	33.3	▲5.9	17.3	42.3	▲12.5	9.8	33.3	▲11.8
サービス業	14.0	48.8	▲17.4	18.2	40.9	▲11.4	7.0	48.8	▲20.9
A規模企業	29.2	29.2	0.0	27.5	35.9	▲4.2	21.1	32.8	▲5.9
B規模企業	16.9	39.1	▲11.1	18.3	41.8	▲11.8	10.8	39.0	▲14.1

この調査は、製造業、建設業における生産高、商業、運輸・通信業、サービス業における売上高について、対直前期と比較したものである。平成24年上期での全業種平均をみると、対直前期に比べ増加と回答した企業は21.3%で、減少したと回答した企業は39.8%となりBSI値は▲9.3となっている。今後の平成24年下期については、BSI値▲11.4で、更に悪化し改善が見込めないと予想される結果となった。

業種別では、平成24年上期実績では全ての業種でBSI値はマイナスで、平成24年下期予測では、製造業、運輸・通信業、建設業がほぼ横ばいで、商業、サービス業は更に減少すると予測をしている。

規模別では、格差は現れており、平成24年下期予測でも同傾向で推移していくと予測している。

(2) 製・商品販売価格

製・商品 販売価格	実 績						予 測		
	平成 23 年 7 月～1 2 月			平成 24 年 1 月～6 月			平成 24 年 7 月～1 2 月		
項 目	上	下	B	上	下	B	上	下	B
業 種	昇	降	S	昇	降	S	昇	降	S
			I			I			I
全 業 種	3.6	30.6	▲13.5	4.6	30.7	▲13.0	5.2	29.2	▲12.0
製 造 業	3.0	26.5	▲11.8	4.5	25.1	▲10.3	4.5	25.3	▲10.4
商 業	5.1	33.3	▲14.1	7.5	36.3	▲14.4	6.4	34.6	▲14.1
運輸・通信業	0.0	55.6	▲27.8	0.0	55.6	▲27.8	0.0	50.0	▲25.0
建 設 業	7.1	35.7	▲14.3	4.7	44.2	▲19.8	9.3	37.2	▲14.0
サービス業	0.0	35.1	▲17.6	0.0	27.0	▲13.5	2.8	25.0	▲11.1
A規模企業	3.1	26.0	▲11.4	3.9	22.8	▲9.4	4.8	27.4	▲11.3
B規模企業	3.8	33.1	▲14.6	5.0	34.9	▲14.9	5.4	30.1	▲12.3

平成24年上期実績の製品又は商品の販売価格を全業種平均で見ると、約65%の企業は「ほぼ不変」としているものの、「下降」と答えた企業は30.7%、「上昇」と答えた企業は僅か4.6%である。先行きについても、BSI値は同傾向で推移すると予測されている。

業種別に見ると、平成24年上期実績では全ての業種でBSI値はマイナスとなっており、平成24年上期予測では、ほぼ横ばいか若干の改善が見られるものの依然大きな改善は見込めないと予測している。

規模別では、A規模企業とB規模企業の大きな格差は無く、平成24年上期予測では更に格差は無くなると予測している。

(3) 営業利益

営業利益	実 績						予 測		
	平成 23 年 7 月～1 2 月			平成 24 年 1 月～6 月			平成 24 年 7 月～1 2 月		
項 目	増	減	B	増	減	B	増	減	B
業 種	加	少	S	加	少	S	加	少	S
			I			I			I
全 業 種	15.1	43.3	▲14.1	13.4	45.8	▲16.2	9.7	38.9	▲14.6
製 造 業	16.6	40.0	▲11.7	16.1	44.4	▲14.1	13.0	35.0	▲11.0
商 業	14.0	50.0	▲18.0	13.8	46.0	▲16.1	7.1	44.7	▲18.8
運輸・通信業	9.1	54.5	▲22.7	0.0	60.0	▲30.0	0.0	50.0	▲25.0
建 設 業	15.8	40.4	▲12.3	10.5	49.1	▲19.3	5.5	36.4	▲15.5
サービス業	11.1	46.7	▲17.8	6.7	44.4	▲18.9	7.0	46.5	▲19.8
A規模企業	20.6	38.2	▲8.8	20.5	39.4	▲9.5	15.5	33.3	▲8.9
B規模企業	12.5	45.8	▲16.7	9.9	48.9	▲19.5	6.8	41.7	▲17.4

各企業における営業利益を全業種で見ると、平成24年上期では「減少」した企業が「増加」した企業を上回り45.8%が「減少」と答え、BSI値は、▲16.2となっている。先行きについても、38.9%が「減少」と答え、BSI値は、▲14.6となり収益環境は依然低迷する見通しとなっている。

(4) 資金繰り

資金繰り 項目 業種	実 績						予 測		
	平成23年7月～12月			平成24年1月～6月			平成24年7月～12月		
	楽あ でる	苦 しい	B S I	楽あ でる	苦 しい	B S I	楽あ でる	苦 しい	B S I
全業種	8.3	30.2	▲10.9	6.8	32.1	▲12.7	6.1	32.1	▲13.0
製造業	11.3	29.6	▲9.1	8.9	31.5	▲11.3	6.5	33.3	▲13.4
商業	3.5	30.6	▲13.5	2.3	32.6	▲15.1	3.5	31.4	▲14.0
運輸・通信業	9.1	36.4	▲13.6	10.0	30.0	▲10.0	10.0	30.0	▲10.0
建設業	9.3	18.5	▲4.6	9.3	27.8	▲9.3	9.4	20.8	▲5.7
サービス業	2.2	44.4	▲21.1	2.2	39.1	▲18.5	4.8	42.9	▲19.0
A規模企業	16.3	19.4	▲1.6	13.2	21.7	▲4.3	9.4	26.0	▲8.3
B規模企業	4.5	35.3	▲15.4	3.7	37.0	▲16.7	4.5	35.1	▲15.3

資金繰りは、全業種で見ると平成24年上期において「変わらない」とする回答は61.1%である。資金繰りが「楽である」と回答した企業は6.8%、「苦しい」が32.1%でBSI値は▲12.7となっている。今後の予測においても、改善の兆しが現れないと見ている。

(5) 借入れ

借入れ 項目 業種	実 績						予 測		
	平成23年7月～12月			平成24年1月～6月			平成24年7月～12月		
	増 加	減 少	B S I	増 加	減 少	B S I	増 加	減 少	B S I
全業種	12.1	19.5	▲3.7	14.2	20.9	▲3.3	13.8	21.8	▲4.0
製造業	14.2	20.3	▲3.0	13.2	19.8	▲3.3	16.2	21.7	▲2.8
商業	11.7	14.3	▲1.3	23.4	16.9	3.2	14.3	16.9	▲1.3
運輸・通信業	18.2	18.2	0.0	20.0	30.0	▲5.0	30.0	30.0	0.0
建設業	7.5	24.5	▲8.5	6.1	24.5	▲9.2	1.9	26.9	▲12.5
サービス業	7.3	19.5	▲6.1	9.8	26.8	▲8.5	12.5	22.5	▲5.0
A規模企業	11.2	16.8	▲2.8	13.5	19.8	▲3.2	19.4	17.7	0.8
B規模企業	12.6	20.9	▲4.1	14.5	21.4	▲3.4	11.1	23.7	▲6.3

各企業における借入れの状況を全業種で見ると、平成24年上期では「増加」した企業が14.2%、「減少」した企業が20.9%で、「増加」した企業を「減少」した企業が上回った。

先行きについては、13.8%が「増加」と答え、「減少」は21.8%となり同傾向で推移すると予測している。

(6) 設備投資

設備投資 業種	実 績						予 測		
	平成23年7月～12月			平成24年1月～6月			平成24年7月～12月		
項目	増 加	減 少	B S I	増 加	減 少	B S I	増 加	減 少	B S I
全業種	12.0	31.1	▲9.5	14.9	29.2	▲7.2	11.9	30.2	▲9.1
製造業	14.3	27.6	▲6.7	15.4	28.4	▲6.5	14.5	28.5	▲7.0
商業	7.7	37.2	▲14.7	12.8	35.9	▲11.5	6.7	33.3	▲13.3
運輸・通信業	0.0	30.0	▲15.0	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2	▲5.6
建設業	10.0	40.0	▲15.0	11.5	28.8	▲8.7	7.7	36.5	▲14.4
サービス業	14.3	26.2	▲6.0	18.6	23.3	▲2.3	14.3	26.2	▲6.0
A規模企業	17.1	20.2	▲1.6	26.2	19.2	3.5	18.8	19.5	▲0.4
B規模企業	9.4	36.6	▲13.6	9.1	34.4	▲12.6	8.4	35.6	▲13.6

各企業における設備投資の状況を全業種で見ると、平成24年上期では、14.9%が「増加」で、29.2%が「減少」と答えている。今後についても、BSI値は▲9.1となり、引き続き「減少」となっている。

4. 当面の経営上の問題点

この調査は、企業における経営上の問題点（複数回答）について調査したものであり、全企業平均で最も多いのは、「売上げ不振」の46.3%であり、ついで「受注不振」の36.9%、「製・商品価格安」の28.0%、「原材料高」の20.2%、「人件費高騰」の15.2%、の順になっている。

業種別に見ると、製造業で最も多くの企業が問題にしているのは、「受注不振」の49.8%で、ついで「売上げ不振」44.5%となっている。商業は、「売上げ不振」の51.1%が最も多く、ついで「製・商品価格安」の29.5%となっている。運輸・通信業、サービス業では、「売上げ不振」の51.1%、36.4%とそれぞれ最も多く、ついで「人件費高騰」の27.3%、29.8%の順になっている。建設業では、「受注不振」が45.0%と最も多く、ついで「売上げ不振」の31.7%となっている。